

## インタビュー



山本工機株式会社 代表取締役

やまもと なりとし 山本 成年 氏



「情熱と知識を精錬し 輝く明日をつくる」と話す山本社長

今年の1月に「第2回埼玉DX大賞」最優秀賞を受賞した同社の山本社長に話を伺いました。

### ■貴社の概要について、教えてください。

**山本** 1959年に東京都足立区千住元町で山本合金鋳造所を設立し、1974年に現在地に移転しました。1987年に現社名に変更し、1995年加工工場を増築しました。事業内容は、砂型鋳造、シェルモルド鋳造、切削加工、組み立て、検査です。製品寸法は50φから250φをメインとしています。

当社の強みは、鋳物工場と加工工場が隣接しており、砲金、真鍮、アルミの砂型鋳造から切削加工、組み立て、検査まで、スピーディーに一貫生産できることです。従来、お客様からの発注形態は、製造、加工、組み立ての各種工程を一つ一つ別の会社へ依頼され、工程ごとに管理されていたものが、当社は社内にて製造から納品まで一括にて対応が可能です。鋳造品の切削加工は自社製品だけでなく、他社の鋳造品も加工しています。多彩な加工技術を駆使し、難課題でも、最高品質の製品を提供しています。

### ■埼玉県の第2回埼玉DX大賞の最優秀賞を受賞されたが、応募のきっかけ、内容を教えてください。

**山本** 応募のきっかけは、当社で使っている生産管理ソフトのメーカーから「主要モデル企業として発表してくれないか」と話がありました。また、「埼玉DX大賞にも推薦させていただけないか」と話があったので、参加しました。

これまで、非効率な生産計画・製造が常態化し、また、情報共有不足が原因で受注・生産状況が見えていない状態でした。さらに、月100時間越えの時間外労働、休日出勤が続き、社員の働き方にも大きな影響を及ぼしていました。

そこで、QRコードによるタイムカード、生産管理システムの「TECHS」を導入し、作業工程の完了ごとにバーコードを読み取り、生産実績を記録。全社員がリアルタイムで生産状況を把握、共有できる仕組みを整えました。今では当社だけで使っているわけではなく、協力会社への注文も「TECHS」でバーコード管理している注文書で発注しています。また、翻訳機能のある「LINE



山本工機株式会社



所在地 八潮市木曽根559-1  
代表者 代表取締役 山本 成年 氏  
事業内容 鋳造、切削加工の技術を用いた社会インフラ設備備品の製造  
資本金 1,000万円 従業員数 17名  
TEL 048-996-2710  
<https://www.yamamoto-kouki.com>



# 社内での一貫生産



**第2回 埼玉DX大賞**

**最優秀賞**

DX×技能実習生=小規模製造業の働き方改革の実現

**DXの効果**

- 從業員の待遇向上(給与、賞与アップ)
- 残業時間削減2,195時間削減
- 有給休暇取得率平均+91%

**取組の概要**

スマートカードで情報の可視化・共有を行い、効率的な生産・働き方改革を実現  
経験と勘に頼る手作業の生産体制で月100時間超の残業が常態化していたところから、勤怠管理システムの導入を契機に生産管理システムやコミュニケーションツールを導入し、効率的な生産へと変革。DXの成果を従業員に還元とともに、技能実習生も受け入れ、誰もが働きやすい会社を実現。

**DXのポイント**

- 経営者のリーダーシップやバックヤード・サービスの有効活用で中小企業が抱える課題を解決
- DXの成果を従業員に還元とともに、技能実習生を含めた誰もが働きやすい環境を実現

**企業情報**

企業名：山本工機株式会社(八潮市)  
業種・従業員数：製造業・17名  
事業内容：産業機器部品製造

QRコード

WORKS」を社員のスマートフォンに導入して、報告連絡事項をメイン利用しています。ベトナム人実習生とのやり取りも有効的に使っています。通訳や翻訳による時間のロスを排除し、情報共有の効率化を実現しました。また、生産性の向上、時間外労働の削減などが図れました。

## ■今後の展開・抱負は

**山本** 人は変わるもの嫌なんですよ。いつも通りが一番いいから。無理やりいつも通りではないことをさせるのは、とても難しい。だから必ず何かを入れるときは何かを引く。何でも足し算にしてしまうと、結果的に作業効率が悪くなってしまうことが増えててしまうので、引くことも意識的にして、楽しさを含めて入れていくことが、変化を入れていくときのコツだと思います。

2028年にベトナム人実習生が戸建ての家を買って、子どもがいて暮らせる環境を私たちがフォローできたら、とてもスペシャルなことが起きると思っていて、そういうビジョンを抱えながら進んでいきたいと思っています。

お金のため、生活のためだけに働くのは、とてももったいないなど。ただ単に働くのではなくて、一緒に考えながら働ければ、きっと自分のプライベートでも得た知識を応用して、いろんなことができるようになると思っています。働くみんなにもっと利用されたいです。「自分の人生を豊かにするには、山本工機を利用するのがめちゃくちゃいい」というような会社になって、人が集まるのが会社としては理想だと思っています。

社会インフラ設備部品を製造する山本工機は、安心・安全な暮らしや快適な社会を円滑にするために使用されるその製品の重要性を理解し、確実で丁寧な生産と技術の向上に取り組んできました。今後もご期待に添えるように努力していきます。

また、「モノづくりは人づくり」と考え、地域・お客様・協力企業とも連携し時代の変化にも対応し、尊重し合える人材育成に力を入れ「豊かな視点・豊かな人生」が送れる人づくりを目指しています。パーツ部品を製造する地域企業ですが、一つの部品を通じて、輝く明日づくりを愚直に取り組んでいきます。

(敬称略)